



明日へ
人も
環境も

アース環境サービス 行動指針



EARTH
Environmental
Service

区分	年月日
6 版	2023 年
	4 月 1 日

コンプライアンス委員会

アース環境サービス行動指針の 制定にあたって

アース環境サービス株式会社は、より豊かな未来へつながる「環境」形成に貢献するを ESCO フィロソフィーの VISION としています。

私たちは地球環境・社会環境・企業の環境など、社会やお客様を取り巻くさまざまな「環境」のもつ課題を解決しながら、そこからさらにより良い「環境」を創造することでお客様に貢献し、ひいてはより豊かな未来に貢献しなければなりません。

私たちが ESCO フィロソフィーを実現し、お客様・取引先・社員・投資家・地域社会等から信頼され、持続的に発展するためには、社員一人ひとりの行動が、法令を遵守することはもとより、社会規範を尊重し、社内規程を遵守したものであることが、必要不可欠です。

このことを念頭に、コンプライアンスに関する体制を整備し、役員および社員一人ひとりが特に留意すべき事項を「アース環境サービス行動指針」として制定しました。

社員各位は、この行動指針を日頃の業務遂行の基本として活用し、アース環境サービスの一員として、また社会の一員として、良識と責任ある行動をとることをお願いいたします。

2023 年 4 月 1 日

アース環境サービス株式会社

代表取締役社長

田 渕 徹

アース環境サービス行動指針について

「アース環境サービス行動指針」とは、私たち役員および社員一人ひとりが、企業倫理に則った公正な判断をするための尺度を示したものであり、それを実践するためのものです。

①ESCO SPIRITS (私たちの大切にしている精神)

私たちは、より良い環境を創造するために、E S C O SPIRITS（私たちの大切にしている精神）に示された5つの熱い想いを常に大切にしてい、仕事に向かい合います。

本質を問い続ける

ステークホルダーの成長に貢献できる価値を探究し続ける
目の前の相手に深く共感し、常に本質は何かを問いながら向き合う

挑戦を成長の機会に

やったことのないことで失敗するのは当然と捉える
成功するまであきらめない
不断の努力をし続ける

自ら鍛え、他者を育てる

積極的に自身の成長機会を捉え、周囲の同僚・後輩とともに成長を目指す

多様性を強みに

互いの視点の違いを受け入れることから生まれるこれまでになかった発想を大切にする

パートナーシップ

社内外の互いの専門性を掛け合わせることで生まれるよりよい発想や、アイデアの実現力を大切にする

②お客さまのために

私たちは、社会的使命の重要性を認識し、他とは一線を描くアース・大塚グループの「ブランド」を活かし、独自に培ってきた「現場主義」のスタンスにて、高度化するニーズに対して総合力により、専門的かつ、迅速なサービスで応えてまいります。

(1) 常にお客さまの体力・体型・体質に合わせたオーダーメイドのサービスを提供し続けます

サービスの提供に際しては、常に安全性を最優先に行動します。業務に関連する法令および規則は十分理解し、これを守ります。

私たちは、サービスの安全性に関する情報を入手した場合、直ちに事実関係を調査します。そして、問題となりそうな事柄には、関係部署が相互に連携して適切な対応をとります。

(2) サービスについての正確な情報を提供します

私たちは、年間スケジュールを提示する場合や、サービスに関する宣伝広告を行うにあたって、関係法令を遵守します。また、科学的な検討や慎重な調査から得られた情報を用い、事実と反する表現やデータを提示致しません。

私たちは、他社を誹謗中傷するような表現や社会的差別につながる言葉は使用しません。

私たちは、比較広告を行う場合には、事実により裏付けられ

ていることと、比較した時点において正確で誤解を招かないように留意して表現します。

（３）お客さまのご要望には誠実に対応します

私たちは、お客さまからの問合せ、苦情およびご要望には、誠実に対応します

私たちは、業務上知り得たお客さまの個人情報について、業務の目的のみに使用し、法令に従って厳重に管理します。

（４）創造的なシステムの開発・提案を行います

私たちは、彩都総合研究所をはじめ、社内のあらゆる部署がお客様に対して創造的なシステムの提案を行います。

（５）取引先の情報漏洩防止を徹底します

私たちは、情報システム部にてＩＳＭＳ（情報セキュリティ・マネジメント・システム）を取得しています。決められたルールを守る事により、取引先の情報漏洩防止を図ります。

（６）グローバルにお客様のニーズにお応えします

私たちは、日本国内のみならず海外においても「圧倒的な技術力」でお客様のニーズにお応えします。

③社会に対して

私たちは、社会のルールを遵守し、常に公正な行動を心がけ、社会に貢献し続けます。

（１）社会のルールを遵守します

私たちは、法令等を守ります。

私たちは、社会的責任と企業倫理を認識し、良識と責任を持って行動します。

私たちは、集団的に又は常習的に不法行為等を行うことを助長するおそれがある個人及び団体に対しては、常に毅然とした対応で拒絶をし、商取引を含め、一切の関わりを致しません。

（２）常に公正な行動を心がけます

私たちは、反社会的勢力とは一切関係を持ちません。反社会的勢力から不当な要求を受けた場合は、毅然とした態度で対応し、また、それらに対して不当な利益を与える行動は一切しません。

私たちは、国内外を問わず公務員またはこれに準ずる者に対する接待・贈答は行いません。

私たちは、政治・行政との不明朗な関係を疑われるような行為を慎み、健全かつ透明な関係作りに努めます。

（３）社会に貢献します

私たちは、環境に関する条約や法令を遵守した上で、システムの研究・開発・販売を行います。

また、システムの運用については、薬剤使用の軽減化やリサイクルなどによって、廃棄物の減量化に努めます。

私たちは、専門的知識や各種施設を用いて、NPO/NGO、地域社会のボランティア団体、行政などと共同して、学術研究、文化的活動、自然保護、地球温暖化防止、被災者救済等の社会貢献活動に取り組みます。

④取引先・競争会社に対して

私たちは、自由競争の原理の下、正々堂々と競争し、健全なビジネスを行います。

（１）市場原理を尊重します（業界に対して）

私たちは、どのような状況下にあっても、優越的地位を濫用したり、カルテルや談合など、独占禁止法違反となるような一切の行為を行いません。

私たちは、同業者間や業界団体で、入札談合などの不当な取引制限を行いません。

私たちは、物品の輸出入にあたっては、各国・各地域の関係法令に従って輸出入通関手続きを行います。

私たちは、物品を輸出する際には、技術や物品が兵器の開発や製造に用いられないように確認し、輸出が禁止されている物品を輸出しません。

（２）正々堂々と競争します（競争会社に対して）

私たちは、どのような理由があっても、不正な手段によって他社の営業秘密を取得したり、使用したりしません。

私たちは、その情報が、不正な手段によって取得されたものであること、またはその恐れがある場合には、その情報を取得も使用もしません。

私たちは、他社の知的財産権（特許、著作権、肖像権、ソフトウェアライセンス等）を使用する際は、適切な契約を締結し、不正に使用しません。

（３）健全な取引を行います（取引先に対して）

私たちは、良識と誠実さをもって行動し、公平かつ公正なビジネスを行います。

私たちは、児童労働や強制労働などの不当な行為を行っている企業とは取引しません。

私たちは、役務委託、修理委託等を行う際には、下請け法を遵守し、不当に支払いを遅滞させたりしません。

私たちは、取引先への接待・贈答に際しては、法令や商習慣に従って行い、一般社会的な常識の範囲を超える接待・贈答は行わず、それを受けることもしません。

私たちは、当社と利害関係の対立するような活動に関与しません。

（４）会社資産を有効に用います

私たちは、会社の資産を効率的に活用し、常に利用できる状態に置きます。会社資産は、有形無形を問わず、毀損、盗難等を防ぎ、適切に取扱います。個人的な目的では会社資産を使用しません。

私たちは、退職後も当社の機密情報や在職中に社外から入手した機密情報を漏洩したり、使用したりしません。また、発明などの当社の知的財産の保護に努めます。

⑤社員のために

私たちは、社員の健康と幸せのために、安全な職場を提供し、生き生きと働ける職場作りを目指します。

（１）健全で安全な職場環境を実現します

私たちは、労働基準法および当社就業規則を遵守し、安心して働ける職場作りを目指します。

私たちは、職場の安全・衛生の確保を最優先とし、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。

私たちは、万一、業務上の災害が発生した場合は、事故を最小限にとどめ、また再発を防止するため、即時報告等、

所定の手続きを確実に実施します。

私たちは、社員と人事制度や労働環境に関し、誠実に対話し、協議します。

私たちは、勤務日や勤務時間を適切に管理します。

私たちは、過度な労働、残業を強いるような業務の押し付けはしません。

私たちは、部下の心身の健康に常に留意します。

（２）生き生きと働ける職場づくりを目指します

私たちは、社員のプライバシーを保護するため、業務上知り得た社員の個人情報については、外部に情報が漏洩しないように厳重に管理します。

私たちは、ハラスメントまたは他人にハラスメントと誤解される恐れのある行為は行いません。また暴力、罵声、誹謗、中傷による業務の強制、いじめなどによる人権侵害行為を行いません。

私たちは、社員の人権を尊重し、差別につながる行為は一切行いません。

私たちは、社員の採用、昇進、懲戒などの全ての人事について、出生、国籍、人種、民族、信条、宗教、性別、年齢、各種障害などに基く非合理的な差別を行いません。

私たちは、社員に対して公正で公平な処遇をし、やりがいのある職場づくりを目指します。

（３）安全第一で業務を遂行します

私たちは、安全に関する仕様の確認・得意先との打ち合わ

せ・施工前の安全点検を遵守し、安全第一で行動します。

⑥投資家に対して

私たちは、投資家に対して、収益に影響を及ぼすような企業情報を適時・適切に開示します。

（１）投資家に対して正確な情報を開示します

私たちは、会計帳簿への記帳や伝票への記入にあたっては、関係法令、各種の会計基準に定められた基準や親会社や社内の規程に従って、正確に記載します。虚偽または架空の記載を行ったり、帳簿外の資産を築いたりしません。

私たちは、投資家に対して、親会社等が財務内容や事業活動状況等の経営情報等を迅速かつ的確に開示することに協力します。

（２）インサイダー取引は行いません

私たちは、親会社等、取引先および競合相手に関し知り得た内部情報を利用して、一般の投資家に対してその内部情報が公開される前に、株式や債券などの取引をしません。

私たちは、会社の機密情報は適正に管理し、会社が無断で社外に開示したり、漏洩したりしません。社外に開示する場合には、秘密保持契約を締結します。

私たちは、自社および他社の機密情報を厳重に管理し、業務の目的以外に使用しません。

⑦行動指針を守るために

私たちは、本行動指針に反するような事態が起きたとき、原因究明と再発防止に努めます。そして、その事態の

社会への影響を考えて、迅速かつ的確な情報開示と説明責任を果たします。

私たちは、本行動指針に違反した者、違反を放置した者およびこの事態に責任がある者に対し、社内の規程に従って処罰します。

（１）適用範囲

本行動指針は、アース環境サービス株式会社の役員、社員（正社員・契約社員・新エルダー・パート社員・顧問・嘱託）を対象とします。

（２）相談・申告窓口（内部・外部通報）

次の場合は、上司またはE S C O目安箱（内部通報制度：管理本部長）または、外部窓口にお問い合わせ・報告します。

mail：esco-meyasubako@earth-kankyo.co.jp

外部通報窓口：株式会社インテグレックス

（受け付け方法：手紙・電子メール）

mail： earth-speakup@integrex.jp

住所： 〒150-0012

東京都渋谷区広尾 5-8-14 7F

(ア) 本行動指針の内容や解釈に疑問を感じたとき

(イ) 本行動指針の違反または違反のおそれがあるとき

(ウ) 本行動指針の違反を放置するまたは助長するのを見たとき

(エ) 違反などに関して報告・相談したことで不利益、もしくは不利益な処遇を受けたとき

(3) 相談・連絡者の保護

ESCO 目安箱や外部通報窓口にご相談・連絡した人が、社内で不利益な処分を受けることがないように保護します。この保護は継続的に実施し、コンプライアンス委員会が監視します。

ESCO 目安箱の概要（内部通報制度）

